

校長室の様様替え

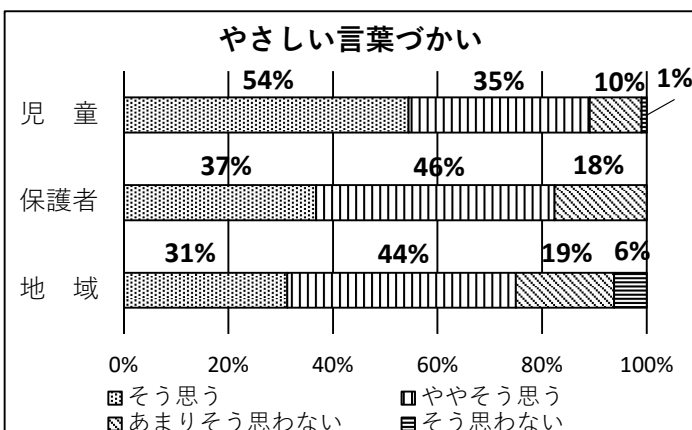
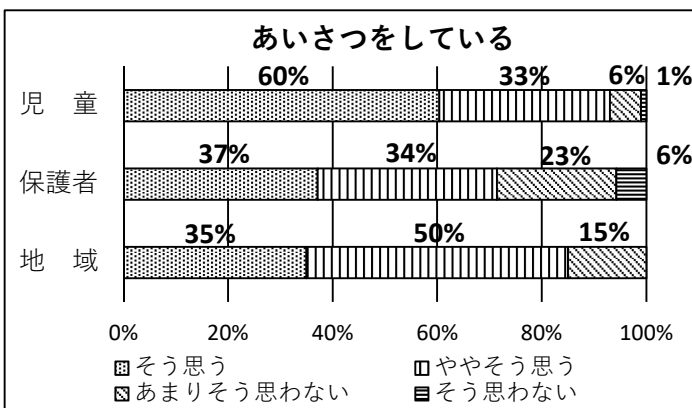
すいぶん前のことですが、2学期に入ってから校長室の様様替えをしました。以前は廊下側の出入口を向いて座っていたのですが、90度向きを変えて、窓の外が見えるようにしました。



すると、運動場の様子が目に入ってきます。雪が降る中、元気に遊ぶ子どもの姿も、通院等で後から保護者の方といっしょに登校する子どもの姿も、外で環境整備をしてくださるくすのきボランティアの方々の姿も…。しかし、これらの様子も、私自身が見ようと思って意識しているから見えるのかもしれませんが。見える環境にあっても、見逃している、すてきな姿、大切な姿があるかもしれません。広い目をもつこと、そして、時に深く、見えていないものを感じ取る目をもちたいものです。

そんな中、窓越しに「さようなら」とあいさつをして下校していく子どもがいます。目があって手を振ると、振り返してくれる子どもがいます。時には、廊下側からも「こんにちは」と声をかけてくれる子どもも…。まるで、「となりのトトロ」のお父さんになった気持ちです。難しい顔をして仕事をしないようにしないといけません。ありがとう。

感謝と思いやりの心もち、よりよい人間関係を築く児童の育成に努めること



前期の学校評価では、【あいさつ】に関して、保護者、地域の方、ともに児童のあいさつが十分ではないとする意見が寄せられています。そこで、児童一人ひとりが自分事としてとらえ、より積極的にあいさつができることをめざし、どんな取組ができるか、児童主体で全校の意識を高める方法も視野に知恵を出し合い取り組んでまいります。

【言葉づかい】に関しては、同じように保護者、地域の方の評価が低い結果でした。児童は、自分の話す言葉が、相手を思いやる温かい言葉であるかどうか、十分判断できていないことが考えられます。そこで人権教育の視点に立ち、児童がつかう言葉にアンテナをはりつつ、保護者との連携のもと適切な指導を行ってまいりたいと考えます。また、地域の方との豊かな交流体験を充実させたり、共感的な雰囲気の中で共に学ぶ「かかわる」授業を行ったりして、温かい言葉が増えるよう取り組んでまいります。

人権教育参観日のアンケートから

11月に実施した人権教育参観日の保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。

「保護者の皆様は、普段お子様に対して人権を意識したお声かけなどされていることがありますか。ございましたら、よろしければご記入ください。」に対して以下の回答がありましたのでご紹介します。

- ・知らないということが、まちがった考えの元になっていることが多いと思います。知らないままにするのではなく、分からないなりに、知ろうという姿勢が大切だと声かけしています。
- ・他の人の身になって考える様には教えています。
- ・困っている友達がいたら、優しく声を掛けてあげる、自分が嫌だと思ふ事は、相手にしないように言っています。
- ・友達や人との関わりで、自分がされたら嫌と思うことはしないように、言わないようにとっています。
- ・自分がされて嫌なこと、言われて嫌なことなど、相手の気持ちも考えるように伝えています。
- ・最近、人権尊重の観点から、LGBTQについて長子と話をしました。
- ・自分で考えて行動するように促しています。
- ・「～しなさい！」という言い方はなるべくしないように気を付けています。
- ・相手の気持ちを考えること。相手に合わせるだけではなく、自分の意見も大切に、自分自身を大切にすることを話しています。
- ・いじめは人権侵害だと思うので、相手がいやだと思ふ可能性のある言葉は言わないように折に触れて伝えるように気を付けています。(いじり、からかいが、された方に深い傷を残していることを、みんなに分かってほしいです。)

北村さんの講演会についての感想もご紹介します。

- ・講演では、ゲームを通じて目が見えない方の誘導・サポートのしかたを分かりやすく教えていただきましたが、危なくなったときに声かけをするだけではなく、そのまま前に進んでいいよ、そのまま大丈夫だよと、声をかけ続けてあげることで安心して前に進めるという話を聞いて、子育てにも通じる気がしました。
- ・“支え合って生きている。だからこそ、今の自分がいるんだ。”という話に込み上げてくるものがありました。
- ・全盲の母親のことを思いました。気持ちに寄り添いながら接することの大切さを感じました。
- ・私も子どもにとっての伴走者になりたいと思いました。引っ張りすぎず、歩調を合わせていきたいです。そして、どの子にも、いいところがあることを改めてそうだなと、日々の生活で見失っていたと思いました。



あらためて、本校では、「きづく、きめる、かわる、やりぬく」の心や力を、子どもたちの将来的な幸せを思いながら育もうとしております。“自立と共生”につながる大切な心や力になると考えます。わたしたち大人も、その姿をともに見せていきましょう。令和4年がまもなく終わります。来年もどうぞよろしくお願いいたします。よい年をお迎えください。

